

# 町・地域の発展に寄与された8人2団体を表彰

## 自治功労 4人

なかむら よしなり  
**中村 善成**さん  
◇選挙管理委員12年◇

ないとう ともかず  
**内藤 知一**さん  
◇行政協力委員(区長)8年・民生委員児童委員9年◇

ぬまた ふみかず  
**沼田 文一**さん  
◇教育長3年11月・教育委員8年・行政協力委員2年◇

なみかわ のぼる  
**南川 昇**さん  
◇行政協力委員(区長)14年◇

**町表彰式** 1月5日(土) 午前10時  
町民文化センター大ホール



中村 善成さん



内藤 知一さん



沼田 文一さん



南川 昇さん

長年にわたり、町の行政、文化や社会などのさまざまな分野で地域の発展にご尽力いただいた方々の功績をたたえます。

## 一般表彰 3人

かきわだ てるお  
**鍵和田 輝夫**さん  
◇行政協力委員6年6月◇

とみたけ ごろう  
**富嶽 晤朗**さん  
◇文化財保護委員25年6月◇

まかべ しょうへい  
**真壁 正平**さん  
◇神奈川県中学校陸上競技大会で優勝◇

## 感謝状 1人2団体

もいずみ ひろし  
**茂泉 宏史**さん  
◇行政協力委員2年◇

かきわだ せきざい  
**鍵和田 石材(有)**  
◇被災地支援に石碑を寄贈◇

ひらき きかく  
**(株)終 企画**  
◇広報まつだ「新春対談」に協力◇

表彰される方々は、昨年11月29日に開催された表彰審査会に行政や地域などから推薦されました。厳正な審査の結果、8人2団体となりました。  
【問い合わせ】庶務課庶務係 ☎(83)1221



### 八千草薫さん Profile

大阪生まれ。結婚するまでは松田瞳さん。宝塚音楽学校から戦後の昭和22(1947)年、宝塚歌劇団に入団。美貌と清純派の娘役で一世を風靡しました。映画監督の谷口千吉氏と結婚、谷口瞳に。

在団中から映画にも出演、当時の「お嫁さんにしたい有名な人」のトップに輝きました。映画、舞台、テレビなど多数。

1月10日から放送のフジテレビ木曜夜10時、連続ドラマ「最高の離婚」に出演します

八千草 いろいろのハーブが入っているのですか。  
町長 年間181種1万6,500本ほど育てているので、ぜひ、時間がありませんたら松田にお越しください。  
八千草 このハーブティーもおしゃれですけど、先ほどのお茶(足柄茶)は大変おいしかったですね。あれも地元のもんですか。  
町長 そうです。松田町では、お茶の生産も行われており、自家栽培のお茶を飲んでいる方もいると聞いています。

## 富士山、足柄平野を一望

### 町の縁で被災地支援

八千草 松田町は、高い建物がないので本当に気持ちいいです。ここから見る景色は、足柄平野が一望でき、大変素晴らしいです。  
町長 ここ役場で海拔約70メートルです。  
八千草 そうですか。山が身近にはつきりと見えるので、とても素晴らしい町ですね。  
町長 八千草さんは、どこにお住まいですか。  
八千草 都内の世田谷で、朝起き

ると富士山が見えたのですが、最近建物が建ってしまった、今は見えなくなっていました。  
町長 それではぜひ松田町に別荘を(笑)。松田町は小さい町ですが震災で壊滅的な被害にあつた岩手県の陸前高田市を支援しています。市長が松田町生まれであることからです。(桜の植樹支援活動・スポーツ交流などについて説明)松田町の継続しての支援には、陸前高田市市長も心から感謝と信頼を寄せてくれます。  
八千草 すてきなお話ですね。  
町長 さて、松田山からの夜景

ハーブ館周辺で年末点灯のイルミネーション、ともにきれいな町なんですよ。  
八千草 今回、初めて松田町にお邪魔させていただきました。短い時間ではありましたが、穏やかでのかな土地柄に触れさせていただき、本当に故郷に戻ってきた感じがしました。一つ残念なことは、今回、住民の皆さんと接することができなかったことです。また、春の桜の季節に松田山にお邪魔したいと思っております。  
(この後、松田山ハーブ園に上り、町並みと箱根に至る山々を遠望)

## 陸前高田市訪問ボランティア同行記

# 末永い支援と交流を約束



11月22日、松田町職員と住民ボランティア26人で陸前高田市を訪ねた。一昨年、松田町が津波到達点に植樹した河津桜26本への施肥と、津波到達地点と刻まれた標柱設置をグループに分かれて行った。  
また、松田の子どもたちと交流のあった広田小学校の海の見渡せる津波到達地点近くに、河津桜1本を記念植樹した。  
一方、戸羽太市長と島村町長が仮庁舎で懇談。戸羽市長は、「陸前高田市は全国から支援を求めているが、被災直後、野菜やオートバ

イを届けられ、ボランティアの派遣や桜の植樹、子どもたちの交流事業などを行ってくれた松田町を市民は特別の地域と認識している」と感謝の言葉を述べられた。  
また、「市の復興を8年間を目途にやっているが、国の対応の遅さ、さらに時間がたつと行政と市民との隔たりが出てきていること、何をしようとしても資材や人手が足りなく、市外から人が多く来ても泊まる場所



河津桜への施肥作業①と戸羽市長と語る島村町長

## 子どもたちの交流に希望の灯

がないことなど、次から次へ課題が出てきていて頭が痛い」と大変さも語られた。  
最後に「陸前高田で生まれ育った子どもたちにとって、松田の子どもたちとの交流はよい経験になった、感謝をしている」と語った。  
島村町長も「招待した全員から作文をもらった。いろいろな感想があり、松田の子どもたちにとってもこの交流は被災地の現状などを知る機会でもあったと思われ」と答えた。  
戸羽市長と、島村町長は、今後も両市町が末永く交流していくことを約束。広田小学校の入り口近くに、先人が建てた津波記念碑「大地震の後に津波が来るよ」「地震が来たら高所へ集まれ」「津波と聞いたら欲捨て逃げろ」「低いところへ住家を建てるな」があったのが印象的だった。